

# 競技に関する申し合わせ事項

1. 開館時刻等の詳細は以下の通りとする。

	役員 開館時刻	出場チーム 開館時刻	チーム受付	学校代表者会議
22日(火)	8:20	8:30	8:30~8:40	8:40~
23日(水)				
24日(木)	8:20	8:40		

2. 学校代表者会議はステージで行う。出場チームの学校代表者は全員出席する。
3. 22・23日(火・水)は9:00から開会式を行う。24日(木)は9:00から9:10まで、全チームにコートを開放する。
4. フロア入場は競技役員の指示に従う。選手およびチームスタッフはアリーナ南側のフェンスの外または観客席で待機をする。
5. フェンス外でのアップはボールを使用しない。
6. 開閉会式を行う。開会式では優勝旗の返還を行う。また第1シードのチームが選手宣誓を行う。開会式には第2試合までのチームが参加する。
7. チームの構成は大会要項通り、監督・コーチ・マネージャー各1名と、選手12名以内とする。マネージャーは当該学校の生徒とする。
8. チーム構成の変更の有無にかかわらず、必要事項を記入し、エントリー変更届を大会本部に提出する。(プログラムに記載の誤りがあった場合もエントリー変更届を出す)
9. 監督・コーチ・マネージャーは左胸部に、主将は胸番号下に規定のマークを付ける。監督・コーチは統一された服装とする(上は襟付き、下は長ズボン)。マネージャーはユニフォームでベンチに入ってはならない。
10. コートはステージ側(西)から、A・Bとする。
11. すべてのゲームを3セットマッチ、トーナメント方式で行う。
12. 合同練習は、プロトコール前の5分間とする。パス程度の練習のみとし、アタックヒット、指導者による球出し、トス練習、フロントコートを使用した練習はしない。合同練習と公式練習には規定の人員(監督・コーチ・マネージャー・選手12名)のみがコート内に入ることができる。
13. 大会3日目、第2試合終了後に「昼食・休憩タイム」を設ける。男女それぞれのコートにおいて、遅く終わったコートの終了時刻から1時間後を第3試合の試合開始とする。第3試合のプロトコール開始前5分間の合同練習までは、フロアの使用は認めない。
14. ベンチには、飲料水・救急用具以外の持込を禁止する(メガホン・マスコットなど)。
15. ウォーミングアップについては、所定のウォームアップエリアで行う。飲料水・救急用具はウォームアップエリアに置く。
16. ワイピングについては、コートの中の選手が行い、モップの使用は、主審・副審の判断による。公式練習終了後とタイムアウト中、セット間は、ゲームに出ていない選手がモップを使用してフロントコートからワイピングを行う。
17. 空調が完備されているが、熱中症対策のために日本中体連から示された給水のためのタイムアウトを実施する。

# 審判上の注意事項

1. 本大会は、2025年度(公財)日本バレーボール協会制定の6人制競技規則と、日本中体連バレーボール競技部の申し合わせ事項による。  
※コートエンド側の競技エリアは6.5mとする。
2. ワンボールシステムで行う。
3. プレーヤー及びベンチのマナーについては、フェアな態度で試合に臨むこと。
4. タイムアウトについては、ハンドシグナルを用いて、明瞭に行うこと。
5. 公式練習は、各チーム3分間(合同で行う場合は6分間)とする。
6. 試合前後の記録用紙のサインについては、速やかに行えるようにする。
7. リベロの交代は、サイドライン上(6m範囲)で行う。(一旦止まる必要はない)
8. 監督が、試合中、自チームベンチ前のフリーゾーン内で、立ちながらも歩きながらも指示を出すことができる。
9. タイムアウトは30秒であるが、選手は、30秒を待たずにコートに戻ってもよい。

# 会場及びその他の注意事項

1. 混雑を避けるため、開館時刻より前に開館することはない。
2. 荷物・靴・用具については、各チームに指定された観覧席に整理しておくこと。フロアに入る前には用意されている雑巾で、シューズを拭いてから入場する。
3. 横断幕などでコート表示が隠れないようにする。
4. 屋外のウォーミングアップは交通安全に十分留意する。
5. 体育館内の観覧席、通路などの施設やその他の附属器具等への破損・汚損・滅失については、原状回復・修繕・損害賠償の責任を負う。
6. 貴重品の管理は、チームの責任で行う。
7. 使用後の清掃・後始末については、チームの責任で行う。
8. 会場諸施設への無用な立ち入りを禁ずる。
9. フラッシュを使った写真撮影を禁止する。